

# 訪問リハビリ事例紹介 ～言語・嚥下リハビリ+多職種連携～

新潟南病院 訪問リハビリでの一例

- 多発性脳梗塞の後遺症にて、全身の麻痺、嚥下機能(飲み込みの機能)の低下、ことばの障がい等が残存
- 重度歯周病、歯肉炎
- お楽しみ程度に口から食事をとることはできるが、主な栄養管理方法は胃瘻



ご本人

美味しいものを食べたり、飲んだりしたい。

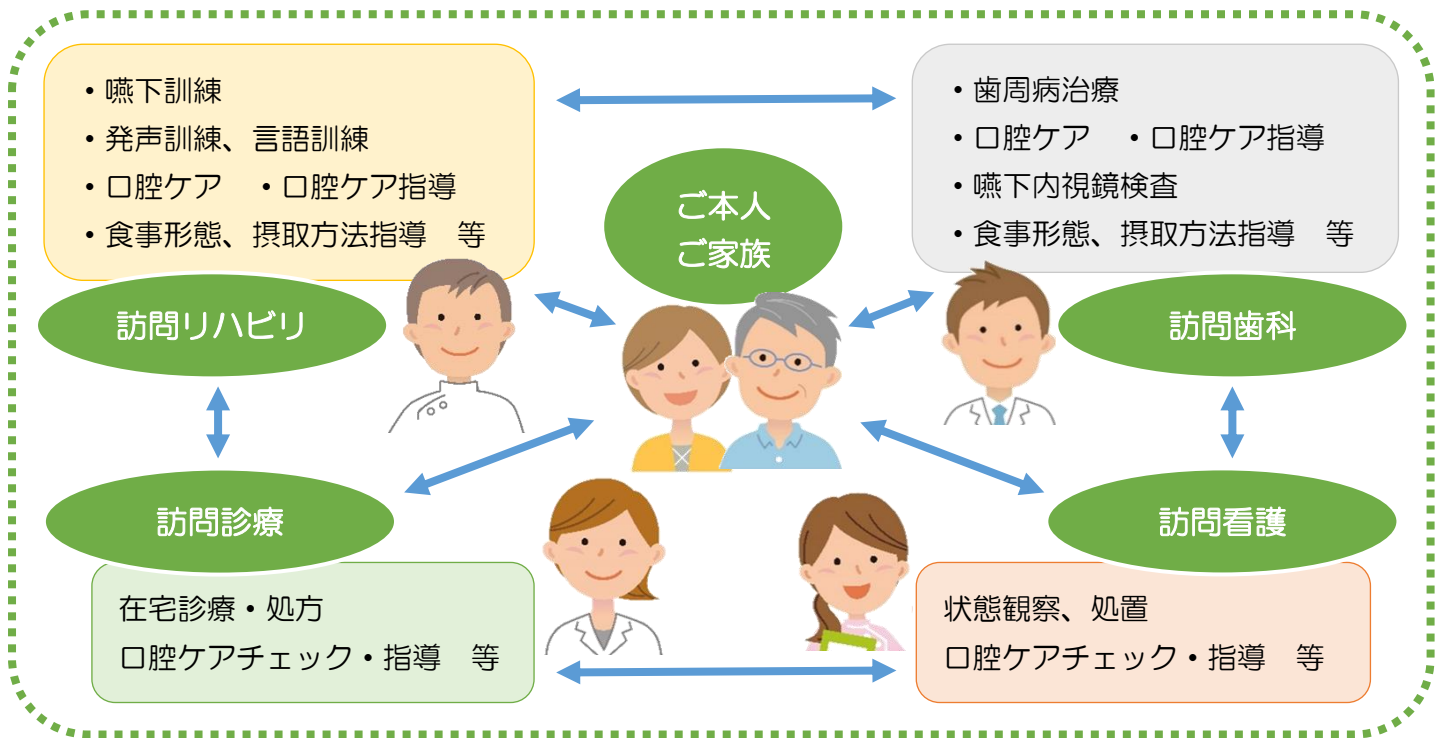
好きなものを食べさせてあげたい。  
口の中の出血が心配です。



ご家族



多職種で連携を図り、定期的にご自宅で嚥下内視鏡検査(飲み込みの検査)を実施し、安全に口から食べたい物が食べられるようサポートします!!



自宅での飲み込みの検査

定期的な飲み込みの検査を行いながら、UDF 区分\*『かまなくてよい』形態から、『歯ぐきでつぶせる』形態まで食べる事が可能となりました。多職種で連携を図りながら、ご本人の希望でもある「形があり、美味しいもの」が食べられるよう、リハビリを継続しています。

\*UDF 区分：ユニバーサルデザインフード



新潟南病院 訪問リハビリテーション

\*お気軽にご相談下さい。

〒950-8601 新潟市中央区鳥屋野 2007 番地 6

電話：025-284-2511 FAX：025-284-2080



facebook

SNS でも情報配信を行っています!

Instagram



MINAMI.HOUMONREHA